

留学体験レポート

国際文化学科 2年 中川 菜緒

北京師範大学に、8月の終わりから1月の初めまでの約4ヵ月間留学していました。最初は留学に行こうか迷っていましたが、先生や先輩方から中国の話を通じて、自分の目で中国はどのような所なのか確かめてみたいと思い、留学に行く事にしました。

北京に着くと、初めは「日本と変わらないな」と思いましたが、中国語で書かれている表示を見て、「中国に来たんだな」と感じました。景色を見てみると、建物が多かったり、高級車が走っていたりなど、「日本と少し違う風景だな」と思いました。

北京師範大学は、留学生・本科生がとても多く、スーパー・コンビニがあったり、他にも学生寮や食堂がいくつもあり、大学の敷地面積がかなり広くて最初は驚きました。ちなみに、私達が住んでいた学生寮の兰蕙公寓から教室までは、徒歩で約10分から15分くらいかかっていました。

北京に来て3日目に、クラス分けのテストがありました。その後、入学式が行われ、授業が始まりました。授業は、ほぼ中国語で行われ、パワーポイントを使って進められます。初めの方は、授業のスピードが速いと感じてしまい、先生が何を言っているのかがよく分からなくて大変でした。しかし、先生の授業をきちんと聞いていくうちに、段々と中国語が聞き取れるようになりました。それに、最初は文章を思い通りに書く事ができず、一苦労しましたが、単語や文法を覚えていくうちに、少しずつ上手く書けるようになりました。私は、話す事が一番苦手だったのですが、出かける機会を増やすなどして、現地の人と話すようにし、話し方を覚えていきました。

中国で生活していると、日本とは違う習慣が多々ありました。バスや車の運転が荒かったり、歩道を歩いているのにバイクが来たりなど、出かける時は、常に周囲に気をつけていました。ですが、地下鉄に乗る時に、荷物をX線に通し、危険物が入っていないかを確認するので安全だなと感じました。スーパーに行くと、日本の場合は、レジ袋やレシートをくれますが、中国はそれらが必要な場合、自分から言わなければもらえない事が多かったです。日本はサービスが行き届いているなど思った反面、何かをされるのが当たり前になっていたなという事に気づきました。

中国に行って、自分で何もしなければならなかったのが、大変だった事も多かったですが、言葉や文化をたくさん学ぶ事ができて本当に良かったです。この留学経験を生かして、これからも中国語を頑張って勉強しようと思います。